

株式についてのご案内	お知らせ	
事業年度 4月1日～翌年3月31日	株式に関する各種お手続きについて	
期末配当金 受領株主確定日 3月31日	●特別口座に記録された株式	
中間配当金 受領株主確定日 9月30日	お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
定時株主総会 毎年6月	<ul style="list-style-type: none"> 特別口座から一般口座への振替請求 単元未満株式の買取（買増）請求 住所・氏名等のご変更 特別口座の残高照会 配当金の受領方法の指定（*） 	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社	特別口座 口座管理機関	[手続き書類のご請求方法] ●音声自動応答電話によるご請求 0120-244-479（通話料無料） ●インターネットによるダウンロード http://www.tr.mufg.jp/daikou/
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社	株主名簿 管理人	
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711 （通話料無料）	（*）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。	
上場取引所 東京証券取引所 市場第一部	●証券会社等の口座に記録された株式	
公告掲載URL http://www.taiyo-hd.co.jp （ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に公告いたします。）	お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
	<ul style="list-style-type: none"> 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 支払期間経過後の配当金に関するご照会 株式事務に関する一般的なお問い合わせ 上記以外のお手続き、ご照会等 	株主名簿 管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	
	●配当金計算書について	
	同封いたしております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づき作成する「支払通知書」を兼ねております。配当金をお受取りになった後の配当金額のご確認や確定申告の資料としてご利用いただけます。 なお、配当金を証券口座でお受取り（株式数比例配分方式）の株主様は、お取引のある証券会社へご確認ください。	

TAIYO HOLDINGS REPORT 2015 INTERIM

中間決算のご報告

平成27年4月1日～平成27年9月30日

第70期

株主の皆様の声をお聞かせください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。
お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>
アクセスコード 4626

いいかぶ 検索

●アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから約2ヶ月間です。
ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝（図書カード500円）を贈呈させていただきます

※本アンケートは、株式会社 a2media（イー・ツー・メディア）の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。
（株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>）
※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます。事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。
●アンケートのお問い合わせ 「e-株主リサーチ事務局」 TEL: 03-5777-3900（平日 10:00～17:30）MAIL: info@e-kabunushi.com



見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第70期上半期における世界経済は、米国経済は所得等の改善を背景に個人消費を中心に景気拡大が続き、欧州経済においてもユーロ圏を追い風に緩やかな景気回復がみられました。一方、中国経済は成長の鈍化により緩やかに減速しています。日本経済においては輸出や生産に鈍い動きがみられるものの、全体的に緩やかな回復基調が持続しています。

このような状況のもと、第70期上半期の当社グループの業績は、リジッド基板用部材や半導体パッケージ(以下PKG)基板用部材の販売数量は前年同期を下回りましたが、高機能品の堅調な販売や為替が円安に推移した影響もあり前年同期比で増収・増益となりました。

なお、第70期の中間配当金につきましては、従前の発表どおり1株当たり55円とすることを10月30日に開催した取締役

役会で決議いたしました。また、期末配当金につきましても、中間配当金と同水準を維持できるものと予想しております。

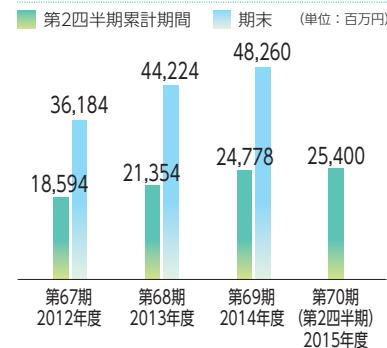
株主の皆様におかれましては今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。



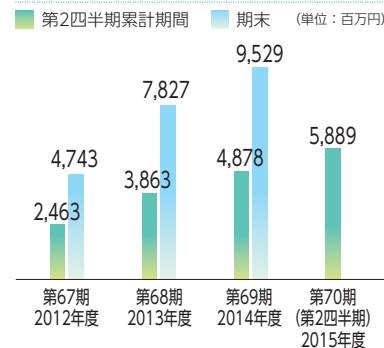
代表取締役社長
佐藤 英志

財務ハイライト(連結)

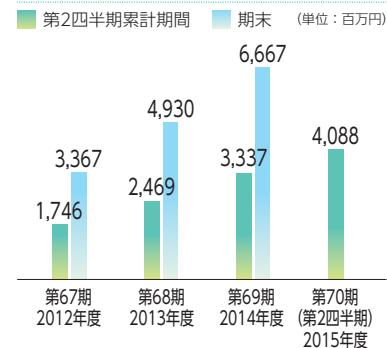
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益*



● 当第2四半期連結累計期間の概況

当社グループの関連市場である電子部品業界については、世界的にスマートフォンやサーバー、車載関連部材の需要が伸び悩みました。一方、為替は円安に推移しました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間の売上高は25,400百万円(前年同期比2.5%増)となりました。

製商品品目別では、「プリント配線板(以下PWB)用部材」については、リジッド基板用部材やPKG基板用部材の販売数量は前年同期を下回りましたが、高機能品の堅調な販売や為替が円安に推移した影響もあり販売金額は前年同期を上回りました。この結果、PWB用部材の売上高は23,673百万円(前年同期比7.3%増)となりました。

「プラズマディスプレイ・パネル(以下PDP)用部材」を主体とする「フラットパネル・ディスプレイ(以下FPD)用部材」については、主要顧客のPDP事業からの撤退によるPDP用部材の生産終了により、販売数量・販売金額ともに前年同期を下回りました。この結果、FPD用部材の売上高は

191百万円(前年同期比89.6%減)となりました。

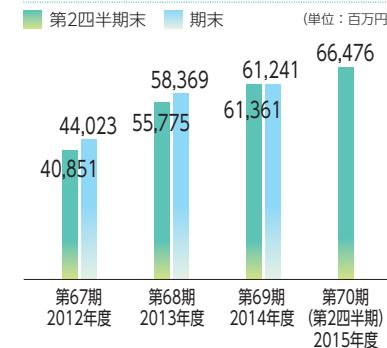
以上の結果、営業利益は5,807百万円(前年同期比22.1%増)、経常利益は5,889百万円(前年同期比20.7%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,088百万円(前年同期比22.5%増)となりました。

● 通期(第70期)の見通し

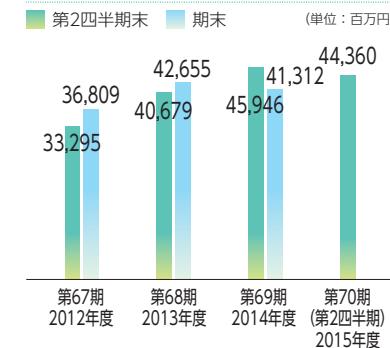
通期の連結業績につきましては、平成27年5月1日に「平成27年3月期決算短信」で公表しました連結業績予想に変更ありません。

科目	第70期見通し (百万円)	第69期実績 (百万円)	増減率 (%)
売上高	51,500	48,260	6.7
営業利益	10,200	9,254	10.2
経常利益	10,300	9,529	8.1
親会社株主に帰属する 当期純利益*	7,000	6,667	5.0

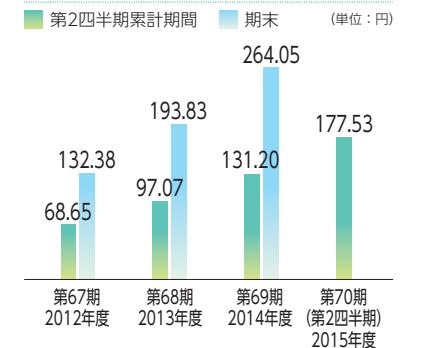
総資産



純資産



1株当たり四半期(当期)純利益



*当期より、「企業結合に関する会計基準」を適用し、「四半期(当期)純利益」を「親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益」としております。

ソルダーレジストの役割

携帯電話などのデジタル家電や、車載電子機器などエレクトロニクス製品にはプリント配線板(以下PWB)が用いられています。当社グループの主力製品であるソルダーレジスト(以下SR)は、このPWBの導体回路表面を覆うことで保護し、こうした製品がショートするなどのトラブルを防ぎ、長期間の安定した使用を可能にします。

1 不要部分へのはんだの付着防止

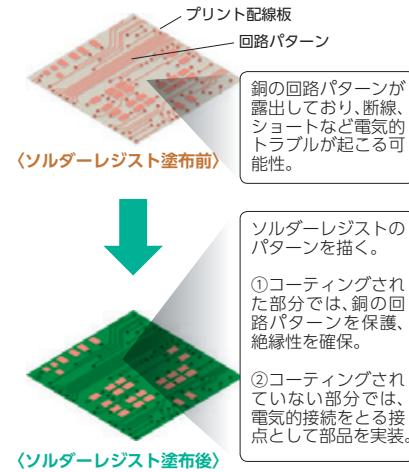
PWBに各種の部品が実装される際に、電気的接続をとる接点以外にはんだが付着しショートを起こすのを防止する役割があります。

2 ほこり、熱、湿気などから回路パターンを保護

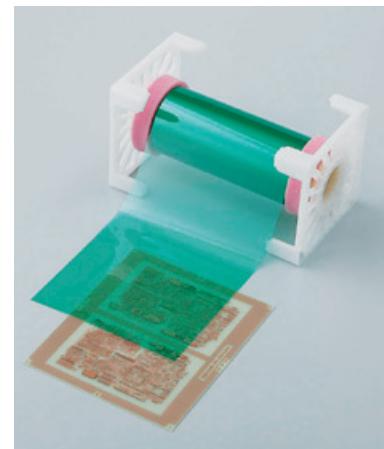
ほこり、熱、湿気などの外部環境から回路パターンを保護します。これによって電子機器は長期間にわたり安定した動作が可能になります。

3 回路パターン間の電気絶縁性の維持

電子機器の小型化に伴い、一般基板の回路パターンは50~150 μ m程度、パッケージ基板では更に細線化しています。SRは回路パターン間の絶縁性を維持し、ショートを防止します。



ドライフィルム型ソルダーレジスト



ドライフィルム型SRは、半導体パッケージ用基板に使用されます。汎用型SRよりも細かくパターン形成することが可能で、半導体の発する高温に長期間耐え、品質劣化が起こりにくいことや反りが少ないなどの特性があります。

また、SRの厚みのバラつきによる半導体の実装への影響をおさえるため、あらかじめフィルム状に加工し厚みを均一にしています。

特性

- ・表面平滑性が良い(凸凹が少ない)
 - ・溶剤が含まれていないため、顧客での使用環境に優しい
 - ・回路間の気泡が少ない
 - ・使用時の工程が少ないため生産性が良い
- など

主な用途



北九州事業所竣工！



北九州事業所の概要	
名称	太陽インキ製造株式会社 北九州事業所
所在地	福岡県北九州市八幡西区黒崎城石1番1号 (三菱化学株式会社黒崎事業所内)
敷地面積	約18,000 m^2
総投資額	約35億円
生産品目	半導体パッケージ基板用液状型ソルダーレジスト及びドライフィルム型ソルダーレジスト
生産能力	液状型:年産1,500トン ドライフィルム型:年産280万 m^2

2015年10月15日、太陽インキ製造株式会社の国内で2番目の生産拠点となる「北九州事業所」が竣工しました。北九州事業所は、今後の需要が期待される半導体パッケージ基板用ソルダーレジストの生産体制強化と国内におけるBCP(事業継続計画)体制の確立を担うこととなります。

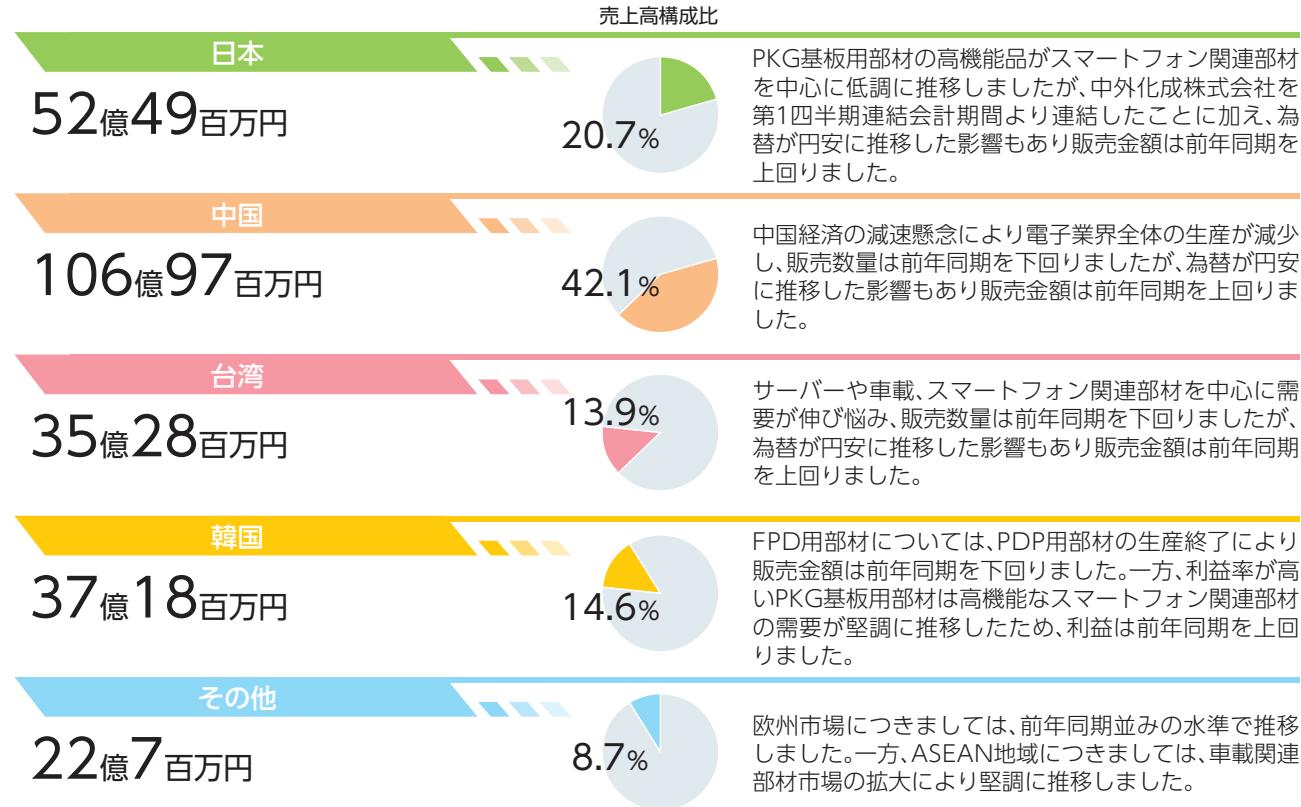
BCP体制のさらなる強化

北九州事業所の竣工により、当社グループの主力製品であるSRの生産拠点は国内2拠点(ほか海外6拠点)となり、国内での代替生産が可能になるなどBCP体制がさらに強化されます。

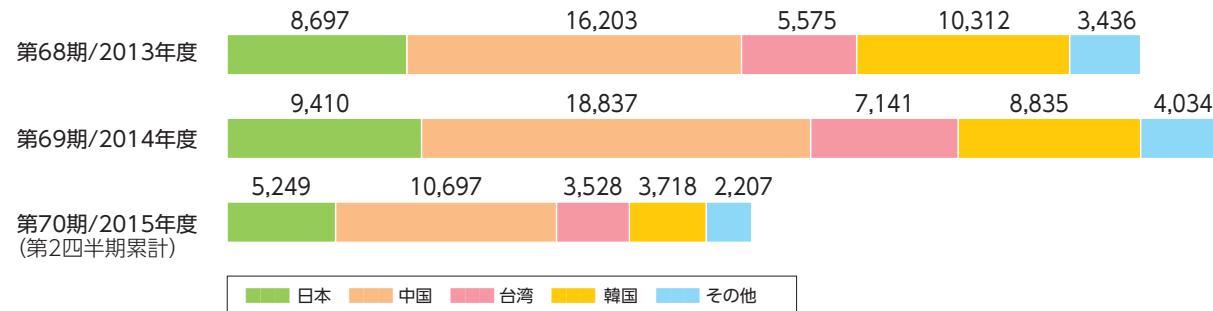
当社グループでは大規模災害等の有事の際も、安定した製品供給を可能とする体制構築に努め、今後も世界トップシェアメーカーとしての責務を果たしてまいります。



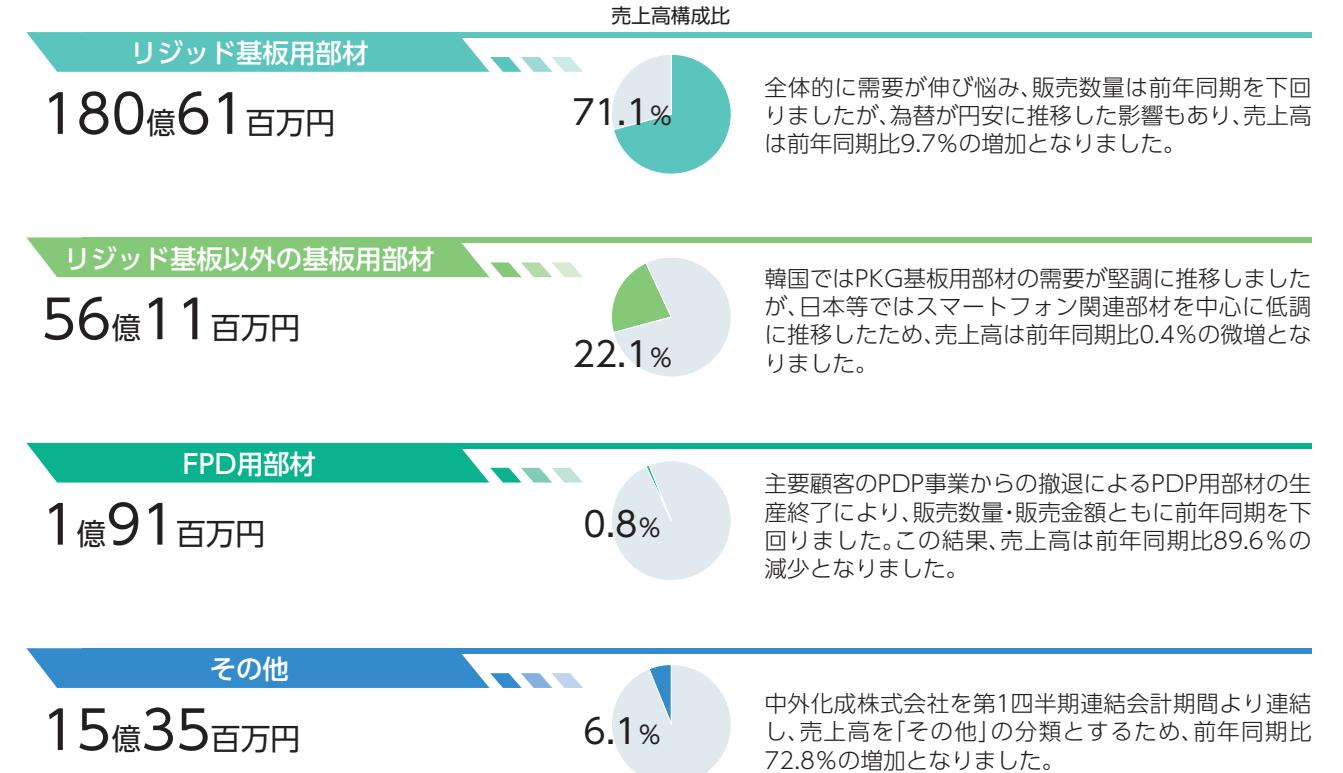
セグメント別売上高の概要 >>> Segment Review (sales areas)



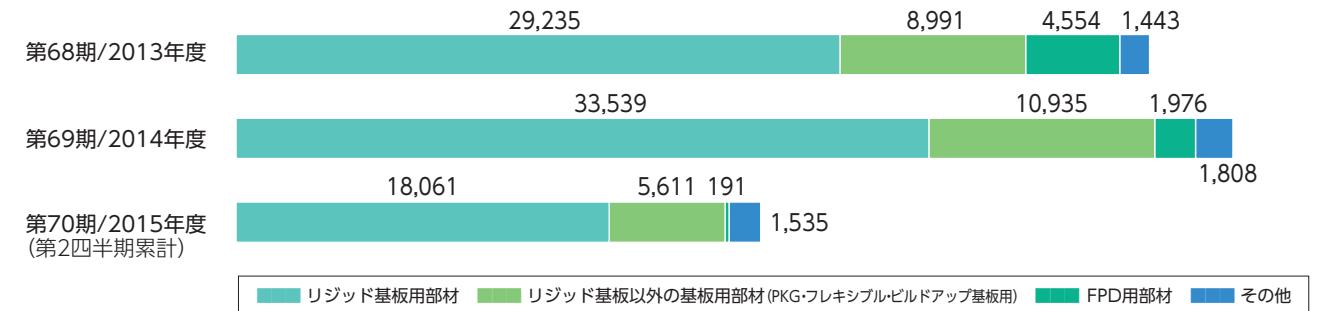
セグメント別売上高推移(連結) (単位:百万円)



製商品品目別売上高の概要 >>> Segment Review (product group)



製商品品目別売上高推移(連結) (単位:百万円)



四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期末 (平成27年9月30日現在)	前期末 (平成27年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	40,167	37,942
現金及び預金	20,694	19,766
受取手形及び売掛金	14,091	13,111
たな卸資産	4,519	4,526
その他	1,217	878
貸倒引当金	△355	△341
1 ▶ 固定資産	26,308	23,298
有形固定資産	19,562	16,865
建物及び構築物	10,865	8,014
その他	8,696	8,850
無形固定資産	5,413	5,327
投資その他の資産	1,333	1,106
退職給付に係る資産	338	339
その他	994	766
資産合計	66,476	61,241

Point 1 ▶ 固定資産

太陽インキ製造株式会社における北九州事業所の建設及び中外化成株式会社の連結などにより、固定資産が約3,009百万円増加しました。

科 目	当第2四半期末 (平成27年9月30日現在)	前期末 (平成27年3月31日現在)
負債の部		
流動負債	12,688	11,056
支払手形及び買掛金	6,245	5,661
賞与引当金	427	384
その他	6,016	5,010
固定負債	9,427	8,872
長期借入金	7,800	7,685
退職給付に係る負債	101	-
その他	1,525	1,186
負債合計	22,116	19,929
純資産の部		
株主資本	39,400	35,676
2 ▶ 資本金	6,188	6,134
2 ▶ 資本剰余金	7,304	7,143
利益剰余金	40,048	36,997
2 ▶ 自己株式	△14,141	△14,598
その他の包括利益累計額	2,892	3,396
非支配株主持分*	2,067	2,238
純資産合計	44,360	41,312
負債・純資産合計	66,476	61,241

Point 2 ▶ 資本金・資本剰余金・自己株式

中外化成株式会社との株式交換及び第三者割当増資(第1回A種種類株式の発行)により、資本金が6,188百万円、資本剰余金が7,304百万円、自己株式が14,141百万円となりました。

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
売上高	25,400	24,778
売上原価	13,981	15,106
売上総利益	11,419	9,671
販売費及び一般管理費	5,612	4,916
営業利益	5,807	4,755
営業外収益	131	149
営業外費用	49	27
経常利益	5,889	4,878
特別利益	38	157
特別損失	33	-
税金等調整前四半期純利益	5,894	5,035
法人税、住民税及び事業税	1,824	1,637
法人税等調整額	△168	△76
非支配株主に帰属する四半期純利益*	149	137
親会社株主に帰属する四半期純利益*	4,088	3,337

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	前第2四半期累計期間 (平成26年4月1日から 平成26年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,564	4,452
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,369	△1,203
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,178	△3,212
現金及び現金同等物に係る換算差額	△212	432
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△196	468
現金及び現金同等物の期首残高	18,183	20,338
株式交換に伴う現金及び現金同等物の増加額	163	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	18,151	20,806

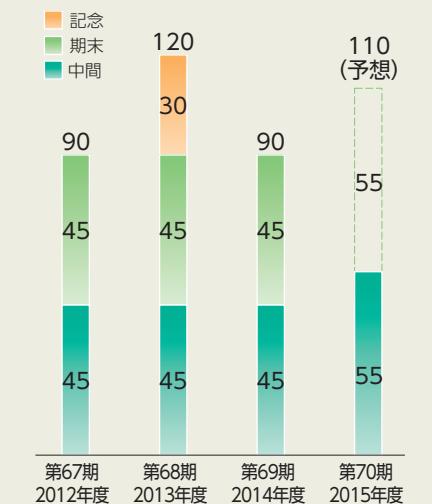
*当期より、「企業結合に関する会計基準」を適用し、「少数株主持分」を「非支配株主持分」に、「少数株主利益」を「非支配株主に帰属する四半期純利益」に、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

利益配分に関する基本方針

当社は現金による株主の皆様への利益還元を重要政策と位置付け、継続的かつ安定的に高水準の利益還元を実施してまいります。株主資本配当率を目標指標とし、「連結決算を基準に株主資本配当率を中長期的に5%以上とすること」を目標としております。

この方針に基づき、第70期の中配当金につきましては1株当たり55円とさせていただきます。

1株当たり配当金 (単位:円)



商号 太陽ホールディングス株式会社
 英文表記 TAIYO HOLDINGS CO., LTD.
 設立 昭和28年9月29日
 資本金 61億8,820万円
 事業の内容 持株会社、グループ全体の経営方針策定および経営管理
 事業所 本社：東京都練馬区羽沢二丁目7番1号
 嵐山事業所：埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地
 従業員 82名

(注) 上記従業員数の中には他社からの出向社員1名を含んでおり、関係会社への出向社員は含んでおりません。

太陽ホールディングスグループ グローバルネットワーク



役員

代表取締役社長	佐藤英志
常務取締役	鹿島世傑
取締役	森田孝行
取締役	竹原栄治
取締役	柿沼正久
取締役	川原敬人
社外取締役	樋爪昌之
社外取締役	森 勇
社外監査役	堺 昭人
監査役	吉本陽臣
社外監査役	遠藤輝好

発行可能株式総数	50,200,000株
普通株式	50,000,000株
第1回A種種類株式	100,000株
第2回A種種類株式	100,000株
発行済株式の総数	27,485,600株
普通株式	27,464,000株
第1回A種種類株式	21,600株
第2回A種種類株式	—株
単元株式数	100株

大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
太陽ホールディングス株式会社*	4,304	15.66
株式会社光和	4,233	15.40
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,391	5.06
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,291	4.70
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	1,116	4.06
CREDIT SUISSE SECURITIES (USA) LLC SPCL. FOR EXCL. BEN	973	3.54
四国化成工業株式会社	631	2.29
MELLON BANK TREATY CLIENTS OMNIBUS	599	2.17
東新油脂株式会社	538	1.95
川原 光雄	500	1.81

*日本マスタートラスト信託銀行株式会社(株式付与E S O P信託口)が所有する当社株式74,500株を含んでおりません。

Web Site Information <http://www.taiyo-hd.co.jp>

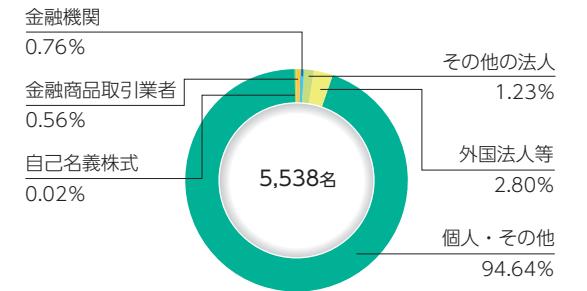
ホームページのご案内

当社では、株主・投資家の皆様に対して、企業情報や財務情報をはじめとして、積極的に情報開示を行っています。

当社をご理解いただくためにも、ぜひアクセスしてみてください。



所有者別株主数の構成比



所有者別所有株式数の構成比

